

— 小山地区社協だより —

# ほほえみ

～ともに生きる～

<http://www.sagamiharashishakyo.or.jp/chikushakyo/oyama/>

第66号  
特別号

発行日・平成31年3月1日  
発行・小山地区社会福祉協議会  
相模原市中央区向陽町8-1  
小山公民館内  
☎042-755-0350  
発行 小山地区社会福祉協議会  
責任者 会長 長谷川澄男



## 小山地区ボランティア講座 開催

去る2月9日(土)雪の華が舞い、冷蔵庫の中の方が温かいと思われる程冷え切ったその日、果たして参加者は来てくれるのだろうか?という不安の中、なんと53名の方が会場である公民館大会議室に集まってくれました。

椅子を追加し、資料を増刷する等、慌ただしく対応するスタッフの心には、ボランティアに対する地域の皆さんの関心の深さに安堵し、期待感が膨らんでいきました。

予定通り午後1時30分、小山地区社協の長谷川会長のあいさつから始まったボランティア講座、最初に登場したのは市社協の渡辺さんです。ボランティアの基礎知識や心構え等をプロジェクターを使って説明されました。

次に登場したのは、傾聴ボランティアの原さんと小林さん。おふたりは、小山地域で活動しているボランティアを代表し、実体験を元にボランティアのあり方、問題点、必要性等を説いていました。

続いて傾聴ボランティア、男性ボランティア、ポッチャボランティアの活動報告の後、近々オープン予定のおやま生活サポートセンター(通称:おやまサポセン)設立準備メンバーである内田さんが登場しました。内田さんは、おやまサポセンのシステムや意義、そして必要性等を熱く語るとともに、一緒に活動して頂ける方を、参加者の皆さんに呼び掛けていました。



傾聴ボランティア  
原代表(右)と小林さん(左)



おやまサポートセンター  
内田さん

それ以外にも「ほっとほっとカフェ」「あつまれおやこ」の紹介説明あり、これにて前半は終了となりました。

暫しの休憩の後、いよいよお待ちかね、音楽を通してボランティア活動をしている3人のメンバー

による「りんごの会」の登場です。

最初は三味線と唄で民謡を4曲披露。「りんごの会」の方たちの朴訥な人柄とノリの良い曲で、会場が一気に和やかな雰囲気になりました。

そしてその後、太鼓と津軽三味線に持ち替えて演奏を始めた津軽おはら節、津軽じょんがら節の高度なテクニックに、今度は会場中がその演奏に魅了され、惜しみない拍手が鳴り止みませんでした。



「りんごの会」心に沁みだした歌声を披露

最後の演奏は津軽甚句、参加者全員が「ホーイ、ホーイ」の掛け声を上げて大いに盛り上がる中、りんごの会の演奏は終了しました。

帰りははじめた参加者の方たちを見送りながら、この中の何人かでも、また、今回参加されなかった方たちからも、ボランティアに参加してくれる人が現れることを期待しつつ、小山ボランティア講座は無事に閉会となりました。



男性ボランティア  
杉山さん



ポッチャボランティア  
西田さん



ほっとほっとカフェ  
増田さん



あつまれおやこ  
井上さん



あいちゃん



## 小山地区社協とともに歩む ボランティアグループ3団体

広報委員長 山田 良章

現在小山地区では、地区社協が支援しているボランティアグループが3団体あります。

それぞれのグループが、小山地区に住む人たちの安寧<sup>あんねい</sup>を願い、それを実現するために地道に活動を行っています。

小山傾聴ボランティアグループ・クローバーは、依頼者の心にしっかりと寄り添い、やすらぎと希望を与えるために活動しています。

小山男性ボランティアグループは、陰になり日向となつて、いろいろな方向から地区社協を支え続けています。

そして、ボッチャボランティアグループは、小山地区の人たちに心と体の健康をお届けするために、一生懸命頑張っています。

こういった活動をしているボランティアグループ3団体にスポットライトを当て、もっと皆様に理解と興味を示していただき、大いに有効活用してもらえればと思い、今号の特集としました。又、一緒に活動していただける仲間も募集しています。是非ご一読ください。

## 赤は私たちの心を示しています ～小山男性ボランティアグループ～

小山男性ボランティアグループ 代表 石田 達夫

私たち小山男性ボランティアグループ（通称：男ボラ）は、平成15年11月、小山地区社協主催の「ボランティアグループ養成講座」を機に発足。自分たちを必要としている方がいる限り、少しで

も地域の皆さんに喜んで頂けるよう「ありがとう」の言葉を励みに、現在9人のメンバーで、赤のユニフォームを着て元気に活動しているグループです。

### ～ 私たちはこんな活動をしています ～

- ◎ 4ヶ所の福祉施設を定期的に訪問、利用者のお手伝いやお相手、また、イベント等では、介助や付添、模擬店やゲームコーナーを設け、利用者の笑顔を励みに頑張っています。
- ◎ 会場の設営と撤去等、地区社協や公民館、その他の事業、イベントに参加協力しています。また、綿菓子やポップコーンの模擬店を開き、地域の皆さんとの交流を図っています。

私たちの活動に少しでも関心や興味がおありでしたら気軽にお声がけしてください。

また、毎月第4金曜日午後1時30分～3時ごろまで、公民館のコミュニティ室で定例会を開いています。ご自由に見学できますので遠慮なくお越しください。

私たちは、いつでも貴方をお待ちしています。



車両へ乗り入れのお手伝い



ゲーム大会でのお手伝い



散歩の付き添い



初詣の付き添い



## 小山傾聴ボランティアグループ・クローバー ～活動紹介～

小山傾聴ボランティアグループ・クローバー 世話人 原 武夫

私達「小山傾聴ボランティアグループ・クローバー」は、活動9年目の地域福祉ボランティアです。(仲間は27名、年齢は40歳～80歳台の平均72歳程)

活動の中心は、耳を傾け心に寄り添う「傾聴」。施設や個人宅に伺い、和やかな時を共有しています。(20人程の傾聴対応)

また、施設では歌声・ゲーム・散歩等を楽しんでいます。(11施設) 更に、地域福祉行事への支援

参加等、幅広い活動をしております。

「無理せず、できる範囲内での活動」をモットーとし、全員が地道な活動を目指しており自然体です。

仲間は共通してとても元気で前向き、ボランティアを上手に日常生活に取り込んでいます。

ぜひご賛同いただき、一緒に活動してみませんか?お待ちしております。



夏祭りのお手伝い  
(ユノトレメゾンさがみ)



歌うたいのお手伝い  
(元氣村相模原)



行事日程の説明をしました!  
(デイサービスかりんとう)



月一回の定例会にて (31年1月)

## ボッチャボランティアグループ

ボッチャボランティアグループ 代表 佐藤 薫

### 【活動紹介】

1. 大会 ボッチャ大会 (年1回 12月)
2. 施設 依頼に応じて高齢者施設を訪問
3. 他地区公民館指導 ・上溝公民館  
・田名公民館  
・相武台公民館 など
4. 団体・イベント ・ふれあいのつどい (社協)  
・老人クラブ連合会  
・健康まつり など
5. 毎月1回 (8月、12月除く) 練習会

### 【今後の抱負】

ボッチャは、重度脳性麻痺障がい者及び四肢重度機能障がい者のためにヨーロッパで考案されたスポーツです。2020年東京パラリンピックの正式競技です。我々の活動するボッチャは、年少者から高齢者まで全ての人が楽しめるレクリエーション的な要素を取り入れています。

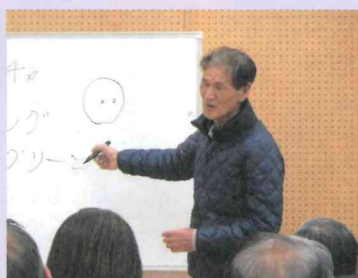
現在ボッチャボランティアメンバーは8名です。みんな楽しく、参加者と交流しながら活動しています。あなたも仲間に入りませんか?メンバー一同お待ちしております。



「ふれあいのつどい」にて



白熱したボッチャ大会



中央区連絡会の会員研修①  
講義をした地区社協の山田さん



中央区連絡会の会員研修②  
講義終了後のゲーム体験



# 福祉まつり「ふれあいのつどい」開催



大道具に凝っています



新鮮な野菜がたくさん！



こんな形も作れます

平成30年11月17日(土)当日はお天気にも恵まれ、とても過しやすい陽気の中「第31回 ふれあいのつどい」が小山公民館にて開催されました。大会議室では、やすらぎ一座によるお芝居や介護用品Q&A、ポッチャゲーム体験が行われました。また、屋外では野菜販売や模擬店、折り紙やクリスマスカードなどの工作コーナー、そして「きらくクラブ」のお食事処や、コーヒーを楽しむ「ほっと

ほっとカフェ」も盛況でした。ご協力くださった各団体の皆様、ありがとうございました。来年はもっとたくさんの方々に小山地区社協の「ふれあいのつどい」を知っていただき、ご来館いただけるよう周知に努めて参りたいと思っています。

## みんなで笑おう福祉の輪！

### －音楽と落語の宅配便－

平成31年1月26日(土)午前10時より、小山公民館大会議室に於いて、小山地区社協 福祉啓発委員会主催の「福祉講座」が開かれました。定員80名のところ、95名の方が参加。会場は大にぎわいの中、小山地区社協の長谷川会長の挨拶に続き、本日のメインイベントである濱乃志隆さんが登場しました。



参加者でいっぱいになった大会議室

この方は、NHKの放送に数多く出演。また、年間200回を超え、20年で4500回もの公演をこなしてきたという大ベテランです。始めるとすぐに、巧みな話芸で参加者の心を一気に掴み、志隆さんの世界に引き込まれました。

事前に録音しておいた自身のギターの伴奏をバックに、サンサーンスの「白鳥」をフルートで演奏しました。そして、ギターの生演奏で全員大合唱。前半は童謡、後半は昭和歌謡。曲の合い間合い間には、軽妙洒脱な語りをうまく挟み込み、あっという間に1部が終了。



オープニングのフルート演奏



童謡や昭和歌謡をみんなで大合唱！

10分ほどの休憩の後、和服に着替えた志隆さんが再び登場。今度は落語を披露しました。

誰に師事する訳でもなく、自己流で覚えたという落語ですが、会場中の笑いが絶えない素晴らしい出来映えでした。

志隆さんの人を飽きさせない公演に、参加者は大満足。福祉啓発委員会の保延委員長の閉会のあいさつ後、笑顔のまま帰途につきました。



粋な和装姿で落語を披露してくれました

### ■おやま生活サポートセンター(通称:おやまサポセン)は、ボランティアを募集しています！

現在、おやまサポセンは、オープンに向け準備中です。このおやまサポセンを地域に定着させていくためには、皆様のお力添えが必要です。

分からないことや、もっと詳しく知りたいという方は、ご遠慮なく地区社協までお電話お問合せをしてください。一人でも多くのボランティア登録をしていただけますようお願い致します。

連絡先: 小山地区社協 事務局

042-755-0350 (平日9時～17時)